

国語

国語表現Ⅰ	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2 思考力を伸ばし言語感覚を磨く。 3 進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『008国語表現Ⅰ 改訂版』（三省堂）および「表現ノート」

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	配 当 時 数	月	学 習 活 動 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間 ・特別活動等との関連など)
第 1 学 期	一 「わたし」のことを語る	6	4	・自分に関する事柄・自分の考えを客観的に把握する。 ・話す・書くという表現活動を通じて、自分のことをわかりやすく伝えるための姿勢（工夫・スキル）を学習する。 ・他の人のことを聞き、それに対する意見をきちんと持つ。 ・他の人の意見を聞き、自らの考えを深め、表現活動に役立てる。	・グループに分かれてテーマを決め、自己紹介文を書く。 ・「自己紹介集」を作成する。
	二 新聞に投書してみよう	6	5	・意見文を書く基本を学習する。 ・話し合いを通じて相互批評の大切さを理解するとともに、自らの問題意識のありようを自覚する。 ・自らのものの見方を相対化することの大切さに気づく。 ・日常生活の中から問題や課題を発見し、それに対する自分の意見や考えを他者に伝えることの喜びを体験する。 ・同時に、文章を公にすることには、責任が伴うことを理解する。	・新聞の投書欄を読み、グループごとに紹介をする。 ・各自、投書を書き、グループやクラスで読み合う。
	◆表現の窓1 ディベートを楽しもう	4	6	・ディベートを通して、討論に参加する際の基本的な姿勢を学習し、討論することの楽しさを知る。 ・異なる立場の相手に自分の意見をわかってもらうために、判断の理由や根拠を明確にすることと、相手の意見をよく聞くことの大切さを学ぶ。 ・何かの問題や提案に対し、自らの立場を明らかにすることの必要性を感じ取る。	・ディベートの実施。 ・試合の感想文を書く。
	三 クラス企画 ミニ講演会	10	7	・ミニ講演会という企画の準備から実施、まとめに至るまでを体験する。 ・クラス内外の人との具体的なコミュニケーションのとり方を学習する。 ・手紙・はがきの書き方、電話のかけ方の基本と、目的や内容を的確に伝える表現のしかたを学習する。 ・よりよいミニ講演会の実現をめざして話し合いをし、さまざまな意見・感想をもとに活動に反映する。 ・活動全体、自らの表現をよりよいものにするために振り返りの場を設け、一つの仕事を協力して行うことの意味と達成感を実感する。	・話し合いを通して講演者の候補と内容を決定する。 ・依頼の手紙を書く。 ・役割を分担してミニ講演会を実施する。 ・感想文を書き、「感想文集」を作る。
	【課題・提出物等】 ・いずれも活動プロセスを記入した「表現ノート」や課題シートの提出。 一 自己紹介文の提出。 二 投書文の提出。 三 依頼の手紙文の提出。				

【第1学期の評価方法】 ①観察記録、作成資料（メモカード、コメントカードなど）、提出課題、相互評価、自己評価を総合して評価し、10段階に評定します。 ②学期全体の評価は、提出物50%、学習への参加の姿勢や態度30%、小テスト20%の割合で評価します。					
第2学期	◆表現の窓2 ことばを見つめる——アンケート調査からレポートへ	6	9	・日常使用している「ことば」を自覚的に見直し、「ことば」に対する意識を高める。 ・資料やデータの扱い方・読み取り方、アンケート調査の活用について学習し、「情報」のあり方について考える。 ・実際のアンケート調査を行い、「情報」を活用してレポートを書く。 ・日本語についての見方を広げたり、関心を高めたりする。 ・グループ活動に参加し、その中で自分に与えられた責任を果たす。	・アンケートを実施する。 ・レポートを書く。
	四 この本読んでみて！——本を紹介しよう	6	10	・読書意欲を喚起し、本に対する興味・関心を持つ。 ・他の人にその本を読んでもらいたいという自分の意思を伝える。 ・他の人にその本を読んでもみようという気にさせる紹介文の書き方を考える。 ・他の人の活動に意見を述べ、他の人の意見に耳を傾けるようにする。 ・本を紹介する表現活動や相互評価を通じて、自分を見つめ、自らのもののとらえ方を自覚する。 ・自らの見聞に基づいて問題の所在・背景を明らかにした文章を読み、問題意識を共有する。	・紹介文を書く。 ・紹介文集を作る。
	◆表現の窓3 文学の表現——表現を豊かにする	7	11	・『伊曾保物語』の「蟻と蟬とのこと」、『イソップ物語』の「セミとアリ」、佐野洋子「ありときりぎりす」を読み、それぞれの表現上の特徴や、表現しようとしている内容について考察をめぐらす。 ・文学作品に表れたさまざまな表現を通して、表現の豊かさを考え、味わう。 ・読み比べの体験を経て、物語や作品を作りかえる創作活動を行う。 ・表現活動や相互評価を通じて、自らの表現意欲を高める。	・古典学習との関連。 ・文学作品鑑賞との関連。 ・物語を書く。
	五 聞き書きの世界——身近な人の話を聞こう	9	12	・身近な人へのインタビュー作業を通して、言語表現活動の活性化を図る。 ・基本的なコミュニケーションや、オリジナリティとは何かについて学ぶ。 ・他者とのコミュニケーションを通して、自らの問題意識を明確化することの意味に気づく。 ・インタビューの結果を短いレポートにまとめるまでの活動を通して、自らの考え方の変容のプロセスを自覚するとともに、文章を公にすることの責任を理解する。	・インタビューを実施する。 ・聞き書きの文章を書く。 ・「聞き書き集」を作る。
【課題・提出物等】 ・いずれも活動プロセスを記入した「表現ノート」や課題ノートの提出。 表現の窓2 アンケート結果のレポートを提出。 四 紹介文の提出。 五 「聞き書き集」の提出。					
【第2学期の評価方法】 ①観察記録、作成資料（メモカード、コメントカードなど）、提出課題、相互評価、自己評価を総合して評価し、10段階に評定します。 ②学期全体の評価は、提出物50%、学習への参加の姿勢や態度30%、小テスト20%の割合で評価します。					

第 3 学 期	◆表現の窓 4 情報手帳で伝えよう、学校生活の知恵——情報の収集・整理と伝達	8	1	・記録・報告文を書く基本的な姿勢（工夫・スキル）を学習する。 ・情報を伝えるメディアには常に忖意性が含まれることを、実際に活動をしていく中で体感する。 ・グループ活動を通じて、相互批評の大切さと、協力して取り組み、作り上げることの意義を理解する。	・取材を実施する。 ・「情報手帳」の冊子をまとめる。
	六 「わたし」の意見を表現する	8	2 3	・社会に目を向けたやや大きなテーマ（「国際化」）を取り上げ、そのテーマが自分にとってどういう問題であるか、テーマと自分とのかかわりはどういうものかを具体的に考える。 ・話す・聞くという活動、図書館やインターネットを利用して調べることを通して、自分の考えや意見を深化させ、他者に伝える。 ・自分の意見を相対化し、深化していく過程を実感させ、生徒の自立意識を育む。	・図書館やインターネットを利用 ・グループ内で口頭発表する。 ・レポート文を書く。
	【課題・提出物等】 ・いずれも活動プロセスを記入した「表現ノート」や課題シートの提出。 表現の窓 4 「情報手帳」の提出。 六 レポート文の提出。				
	【第3学期の評価方法】 ①観察記録、作成資料（メモカード、コメントカードなど）、提出課題、相互評価、自己評価を総合して評価し、10段階に評定します。 ②学期全体の評価は、提出物50%、学習への参加の姿勢や態度30%、小テスト20%の割合で評価します。				

【年間の学習状況の評価方法】 「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・他者と伝え合い、わかり合うために、まず自らの意思で、内側から表現の扉を開くという姿勢を持ってください。 ・一人ひとりが活動に積極的に参加し、教室での話し合いが充実したものになるよう心がけてください。 ・教室外の世界にも積極的に目を向けて、他者を説得し納得させる共通の論理を身につけてください。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をしてください。 ・課題・提出物等は、期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・国語に対する関心を深め、国語を尊重しその向上に努めているか。 ・自ら進んで表現し、伝え合おうとしているか。 ・目的や場に応じて言葉遣いや文体など表現を工夫しているか。 ・様々な表現についてその効果を吟味し、自分の表現や推敲に役立てたりして、話したり文章にまとめようとしているか。	・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題
話す・聞く能力	・自分の考えを持ち、論理的に意見を述べているか。 ・相手の考えを尊重して話し合っているか。 ・目的や場に応じて、言葉遣いなど表現を工夫して話しているか。 ・様々な表現効果について吟味したことを、話すことに役立てているか。	・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題
書く能力	・書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・収集、整理した情報を正確かつ簡潔に伝える文章にまとめているか。 ・目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して書いているか。 ・様々な表現効果について吟味したことを、書くことや推敲に役立てているか。	・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題
知識・理解	・国語の表現の特色について理解を深めているか。 ・語句や語彙の成り立ちについて理解を深めているか。 ・人間生活、社会生活における言語の役割について理解を深めているか。	・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題

(3) 担当者からのメッセージ

「国語表現Ⅰ」では、自分の「考えていること」を相手にわかってもらい、相手の思っていることもわかるためには、どのように表現したらいいか、そのための道筋を学びます。それぞれの活動に一人ひとりが積極的・主体的に取り組むことによって、達成感を味わうことができます。さらに一人ひとりが教室の外の世界に積極的に目を向けて、他の社会・文化への共感をあわせ持ち、やがては響き合う社会の創造をめざすことを切望します。